

木材ジャーナル 名古屋・せぶ

平成27年10月号 No.101

名古屋木材組合
名古屋港木材産業協同組合



名古屋木材組合 創立130周年記念ロゴマーク

27年度「木の日」の要望活動実施

木材業界では例年「木の日」(10月8日)を期して、業界全体として木材の利用推進のための普及啓発活動を展開してきている。

愛知県木材利用推進協議会(鈴木和雄会長)では、本年10月6日(火)に協議会構成団体の各代表等19名が参加して、県庁、県議会、県警本部、国の地方機関である中部地方整備局、東海農政局、及び名古屋市に木材利用推進に関する要望活動を行った。その要望活動の内容は次の通りでした。



(愛知県 森岡副知事)



(名古屋市 河村市長)



(名古屋市区 藤沢議長)

要望項目

〔県、県議会、県警本部〕

- 1 県産木材利用促進に向けた基本方針「あいち木づかいプラン」に即して、県が整備する若しくは補助する公営住宅、学校、福祉、観光、公園施設等の公共施設並びに公共工事における「あいち認証材」等の利用促進
- 2 開催が予定されている全国植樹祭における「あいち認証材」の利用促進
- 3 木造住宅の建設促進及び「あいち認証材」利用促進のための施策の推進
- 4 愛知県環境物品等調達方針に基づく「合法木材・木製品」の調達促進及び、より環境負荷の少ない「あいち認証材」の優先利用の推進
- 5 木材の利用拡大に向けた試験研究の充実

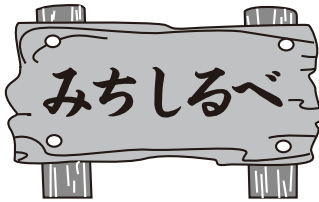
〔中部地方整備局、東海農政局〕

- 1 「公共建築物等における木材の利用の促進に関する法律」に基づき、公用・公共施設などにおける木材利用の推進
- 2 公共工事などでの木材の積極的な利用、特に間伐材の利用推進を図るための手法の検討、協議
- 3 グリーン購入法による合法木材、木製品の調達推進

〔名古屋市〕

- 1 市が整備する公共施設、公共工事における、愛知県産木材を始めとする木材利用の推進
- 2 公共工事などでの木材の積極的な利用、及び特に間伐材の利用推進を図るための手法の検討
- 3 名古屋城天守閣の木造化の推進

“いま、木に本気” ぐらしに活かそう木の良さを



座右の銘

名古屋港木材産業協同組合
理事長 嶺 木 昌 行

私の座右の銘は、3項目ずつ、3通りある。

「誠実、原理・原則、正攻法」

「感謝、愛、祈り」

「強く、やさしく、美しく」

私が座右の銘を意識し始めたのは20歳代後半である。社会人となり、自分の柱となる価値観を打ち立てようとおぼろげながら考え、「誠実、原理・原則、正攻法」の3項目をなんとなく考えついた。「誠実」は、他人に対して信頼を得るため。「原理・原則」はものごとの基本を考える上で最も間違いが発生しないと思い。「正攻法」は人生も経営もものごとを真正面から受け止めて対応するのが最大と思い選んだ。

30歳の頃、愛知県の主催する二代目経営者対象の勉強会「新世代産業研究会」に参加した。この時、担当教官の古井先生から、座右の銘を各人3つ挙げろという課題があり、私は躊躇することなく「誠実、原理・原則、正攻法」を挙げた。そしてそれはその後、私の事業経営そのものの基本的価値観となっていった。

丸美産業という会社は決して大きくはないが、まさに誠実であり、原理・原則に則った企業であり、正攻法で堂々と社会対応できる企業と自負している。

「感謝、愛、祈り」は私の個人的価値観である。私は高校の2年生から大学を卒業するまでの6年間、プロテスタントの教会に通ったことがある。おっちょこちょいにも、高校3年生の時には洗礼も受けている。その6年間、「感謝、愛、祈り」は毎日の言葉であった。

社会人になってからは殆ど教会へ行かなくなったが、不思議と「感謝、愛、祈り」は私の内に残った。人に感謝し、社会に感謝、地球に感謝できる人間となった。「愛、祈り」は闘うことを極端に嫌うようになった。特に人間関係においては、嫌いな人が一人もないことと、相手を人間として見、その人の長所・欠点を人格とは別物として捉えることができるようになった。

「強く、やさしく、美しく」は、50歳代後半から生まれてきた座右の銘である。社長として事業の成長、自己の成長、社員の成長に努めていると、強さとやさしさと美しさは自然の与えた3つのバランスということに気付いた。強いマンションをつくりたい、やさしいマンションをつくりたい、そしてそれは何より美しくあって欲しい。2008年に社長を退任する時、メモリアルとして本社ビルを新築した。その時、「強く、やさしく、美しく」を本社ビルのテーマとした。

自分自身に対しても同じ気持ちである。強い会長でありたい、やさしい会長でありたい。そして美しい会長でありたい。余談かもしれないが、自分が美しくあるためにオシャレもするし、いい車にも乗っている。

最後に、私の経営哲学の基本は、地球に逆らわない経営、歴史に逆らわない経営である。これは原理・原則を追求するうちに自然と到達した、私なりの経営哲学である。今は科学が偏重されすぎている。科学や進歩が正義そのものの時代となっているが、科学と進歩は今のままでは人類を決して幸せに導かないと思う。もう一度地球に立ち返り、地面に親しむ経営を目指す時と思う。

◆ 合縁木縁 ◆

『 水 害 』

先日、栃木県に出張で行きました、ちょうどその時は、行きも帰りも高速道路上はものすごい雨が長時間続きあまり経験した事がないぐらいでした、その二日後、ニュースを見てびっくり、栃木県・茨城県では至る所で冠水、河川決壊と災害が起きていました。

あっという間に、すべての物を飲み込んでしまう、水の怖さを改めて思い知らされました。

私も以前、水害の片付けの手伝いをしたことがありますが、一面に溜まった泥の吐出し、泥水に浸かった家財の運び出し、特に泥水を含んだ畳は重たく、柔らかくなってしまい運ぶのに苦労したことを思い出します。災害に遭われた方は本当に大変ですが早期の復旧を願っております。

あと今回、自衛隊・海上保安庁・消防などヘリ等による人命救助がすごく早かったと感じ、最近では各地で災害が多く発生している為、早期の出動体制が出来上がっているのかと感じました。

今後も、地球温暖化による局地的な豪雨や洪水による水害は山林とは切り離せない問題だと思う。

現在の木材価格は、半年の期間で、素手で収穫できるダイコンより、最低50年の年月がかかり、複数の重機がないと搬出する事が出来ない木材の方が㎡単価が安いという現状は『何かおかしい』と思う。林業でしっかり生活する事が出来れば、多くの人が山に入り、自然と山作りが出来、治水やCO2削減と同時に木材業者からすると副産物もついて来る。きれいな空気や水・森林浴などの癒しや憩・動物などの住みやすい森など・・・

国産材比率50%をめざしておりますが、現在はB材より下の材の需要が増えてはいるがA材以上の需要は増えていない状況である。何とか高付加価値材の需要を見出して木材価格の底上げをして、山林所有者に夢を与えられ、多くのお金を返すことが出来、植林・育林意欲も出て、木材に関わる川上から川下のすべての人が、利益が騰がる仕組みにしなければ山林も守っていけないと思います。

今回は服部産業(株) 取締役 桃井 成人氏にお願いいたします。

名産：(株)東海木材相互市場
執行役員大口市場長 小森淳史

◆ 自遊で異見番 ◆

「130周年 御礼」

名古屋木材組合創立130周年記念講演会・懇親会が8月21日(金)キャッスルプラザ4F鳳凰の間にて午後5時より開催されました。来賓・組合員92名が参加されました。

初めに鈴木組合長の挨拶を頂きました。組合長は、伝統ある組合が発展する為にも10年ごとに記念事業をする事は、継続は力なりとお話しを頂きました。

記念講演会は、島田泰助先生(元林野庁長官)が「ウッドファースト社会の実現に向けて」と題して、充実する森林資源と木材利用拡大の必要性、非住宅用途への需要拡大と利用拡大の可能性、木材を優先して活用する社会への転換等、業界の視野を広げる為に大いに勉強させて頂きました。

引続き懇親会に移り来賓を代表して桂川中部森林管理局長に祝辞を頂き、嶺木副会長の乾杯の音頭で開宴、久し振りに会う組合員の方々の話の輪が広がり大いに盛り上がりました。吉田副組合長の三本締めで、これからの10年に向け組合員の気持ちが一つになり終宴となりました。

翌22日(土)は南山カントリークラブにて、記念ゴルフコンペを早朝より大変暑い中40名の参加を頂き開催致しました。

ゴルフを通し親睦の輪が大いに広がりました。優勝は丸美産業(株)の奥野氏、おめでとうございます。

又集合写真等を参加の皆様にお渡ししたところ、温かいお礼の言葉を頂き実行委員会一同嬉しく思っております。

残すは記念誌の発刊のみとなりました。作成に当り各企業の皆様に広告協賛のお願いをさせて頂きました所、56社よりご協力を頂きましたこと厚く御礼申し上げます。

記念誌は遡る10年間の組合事業や業界の出来事を掲載いたします。

お手元には11月末頃お届けできます様に準備を進めている所でございます。

130周年事業に対し御協力誠に有り難うございました。

実行委員会
文化厚生委員長：尾之内裕三
広報委員長：大平 剛士

お知らせ

☆☆☆ 飛島学園飛島小学校3年生が西部木材港を社会見学 ☆☆☆

平成27年10月7日(水) 飛島学園飛島小学校3年生56人が西部木材港を社会見学に来港。西部木材団地の木材関連施設を見学をしました。木材の輸入、加工、販売、製品の発送まで飛島村を含む西部木材団地で行われている事を学びました。

協力：名港運輸(株)、(株)フジトランスコーポレーション、吉村製材(株)、(株)東海木材相互市場、東海プレカット(株)



名古屋港木材産業協同組合広報委員会
江口達郎(江口木材(株))、秦野健二(服部産業(株))

☆☆☆ 平成27年度 西部地区秋季一斉清掃について ☆☆☆

名古屋港西部地区(飛島地区・弥富地区)において、秋季一斉清掃を実施します。

- 1 飛島地区：平成27年11月12日(木) 9:00～12:00(雨天決行) 集積所(飛島村公民館分館西側)
 - 2 弥富地区：平成27年11月18日(水) 9:00～12:00(雨天決行) 集積所(楠広場駐車場)
 - 3 収集方法：可燃ごみ、不燃ごみ、プラスチック類を分別収集。
道路側溝の土砂は土のう袋に入れ各企業前にまとめてください。
後日、名古屋港管理組合で回収します。
 - 4 ゴミ袋、土のう袋配布：平成27年10月29日(木) 13:30～15:30 飛島村公民館分館ロビー
- ※ 詳細は、名古屋港木材産業協同組合ホームページをご覧ください。

☆☆☆ 西部臨海安全ニュース ☆☆☆

自動車盗難が急増

本年、蟹江警察署管内において、自動車盗難被害が多発しています!

被害車両は、トヨタ(プリウス、ランドクルーザー、レクサスLS)に集中しており、マンションや店舗の駐車場で多く盗まれています。

- 防犯上の注意点**
- ・前記3車種以外も盗難被害に遭っているのでご注意ください!
 - ・わずかな時間でも離れる際は必ず施錠してください!
 - ・ハンドルロック、タイヤロック、シフト固定装置等の防犯器具の活用を!

◆ 広告コーナー

ランニングコストが
ディーゼル車に比べ
約**1/5!**

CO₂排出量が
ディーゼル車に比べ
約**1/3!**

パワーが必要な作業もお任せ!

**アウトドア対応
バッテリーフォークリフト**

ELECTRIC FORKLIFT TRUCK

FE25-1

コマツリフト株式会社 中部カンパニー本社 TEL.052-659-2201

港湾運送事業・倉庫業・通関業

111 中部木材倉庫株式会社

代表取締役社長 成田 誠

本 社 〒455-0036 名古屋市港区浜2-3-1
TEL: 052-661-8181 FAX: 052-661-8188

西部木材港 事務所 〒490-1447 海部郡飛島村西浜 29
TEL: 0567-55-1551 FAX: 0567-55-2086

URL <http://www.chumokuso.co.jp/>

発行 名古屋木材組合

発行者 鈴木和雄

〒460-0017 名古屋市中区松原2-18-10

TEL <052> 331-9386

FAX <052> 322-3376

【編集】名古屋木材組合広報委員会

発行 名古屋港木材産業協同組合

発行者 嶺木昌行

〒490-1444 海部郡飛島村木場1-74

TEL <0567> 57-2017

FAX <0567> 57-2018

【編集】名古屋港木材産業協同組合広報委員会